

「棚からぼた餅」の田舎暮らしスタート

私は7月末で会社生活に別れを告げ、8月からしばらくは今後の行く末についてゆっくりと考える時間を取ろうと思っていたところ、8月に「かじかの郷」に入居予定されていた方が仕事の都合で入居がキャンセルとなり空きが出たことを県民局から連絡いただきました。当初10月の体験入居を希望していましたが、調整の結果、年明けの1月に体験入居することが内定していましたが、夏季の体験もしてみたかったので、8月スタートを決断させていただきました。したがって1日の隙間もなく退職→「かじかの郷」となった次第であります。

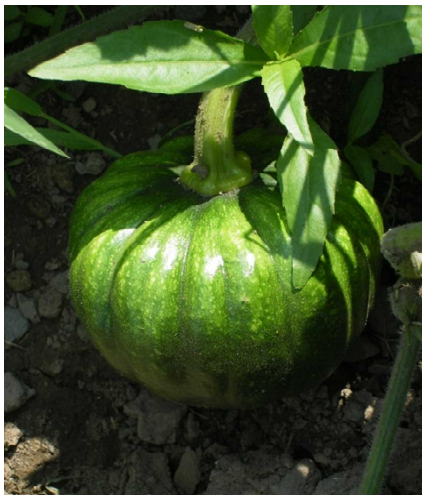
現在は神戸市内に在住していますが、会社退職を近い将来に見据え(田舎暮らしの希望もあり)、たまたま従姉妹が暮らす青垣町佐治地区において今年の夏から小さな畑で野菜作りのまねごとを週末毎に実践してきたこともあり、少し力を入れて野菜作りをやりながら田舎暮らしの可能性を探ってみることにしたことが「かじかの郷」に応募したきっかけであります。



<オクラの花>

丹波地区において田舎暮らしを始めてみようと考えたのは以下の事情によります。

- ・現在の居住地である神戸市内から1～2時間程度でアプローチできること
- ・自然が豊かで水・空気・米・野菜・酒が美味しいこと
- ・便利になり過ぎた都会生活から一歩退き、ゆっくり考えることができる環境があること
- ・従姉妹がすでにご当地に居るためその人脈を活用させてもらえること



<カボチャ>

この「かじかの郷」の体験をきっかけにして、これからの永いリタイヤ後の生活を意義あるものとするよう頑張っけてゆきたいと考えています。